

朝の一時間

むらさき

四四

八時二十分頃幼稚園の入口にくと治さんと震一さんとが私の来るのをまつてゐた。急いで二人を附添からひきとつて川の組のお部屋へゆくと實習科の方たちが八時の授業の前にきれいに掃除をしてあつた。窓ぎわの植木臺の棕櫚竹とスウキトアリサム雛ぎくなどの鉢うゑに水をやる。

水槽の金魚や硝子鉢のかたつむり四匹も異状がない。幼児と一緒にお花の水をとりかへに廊下へ出ると早くからきてゐたのか博久さん恵美子さん卓治さんが遊戯室の方からとび出して来て「先生お早う」と後からついてくる

五人の幼児と長椅子に腰をかけた私は

「皆さんは毎日早くから幼稚園にいらつしやるのね、一度も先生が一等になつた事がない」

といふと幼児はいづれも大得意（この人たちは女學校や小學校のお姉さんと一緒にくるので普通の登園時間よりは一時間も早い）

「皆さんは幼稚園で何が好き」

「遊戯」

と一人が云ふ又一人又一人又一人遊戯の讚美者

博久さん曰く

僕お話も大好き（この人はとくにお話がすきの様で入園當時お話の時だけは附添をはなれた）あゝきのふのお話随分面白かつた（自分は至つてお話

が下手であるが昨日は大きな毯の話で猿や猫や犬
鼠にはとりがつき／＼とまりの中にころげこんで
大きなまりはキャンニャアワンチューコケッコー
ところ／＼ころがる内容形式ともに面白いお話で
あつたから)

「あゝあの大きなまりのお話ですか先生もあのお
話は大好き」

惠美子さん

「あたしも面白かつたわ、おうちへ歸つてお母様
にしてあげた、おしまひは忘れちやつて云へな
かつた」

治さん

「おさむちやんもお家で話した」

「あゝそう、されから何がすき」

「お辨當も大喜き」と震一さんがいふ。

しづかに入口の戸をあけて益彦さんが入つてきた

「益彦さん今日は電車ですか」

ときくと白い小さい歯を出して笑ひながらうなづ
いた。そばにゐた人たちも

「僕も電車」「僕も省線」

と口々に云ふ

これで七人になつた。

「ゆうべは随分雨がひどく降りましたね」

と話しかけると震一さん曰く

「僕は地震があるかとおそくまでおきてたからあ
らしをしつてゐる、きのふの地震で僕つぶれるか
と思つてにげ出さうと思つた」

ほかの人たちはあらしをしらない様子。

よし子さんが入つてきた。

私のそばに話をしてゐた男の子三人はいつの間
にか長椅子のそばへ自分の椅子をもつてきて、電
車遊びをはじめた。

義朗さんがよち／＼の足どりて入つてきた。

おさむさんは急に思ひ出した様に上衣をあげて

「先生ばんどをしめてきたの、きのふお母様がお姉さまと一緒に三越からかつてきてくださった、夕方かへつてきたの」

「まあきれいですこと」

おさむさんは随分うれしそうにバンドをいぢつてゐた。繁哉さん克彌さんがきた。二人はすぐにお部屋の中の砂場で遊び出した。

静子さん取子さんがくる。

幼稚園のばあやが幼稚園協會の書留をもつてきた私ははがま口から印を出して受領認におしてゐるとそばの一人は

「僕もお金をもつてゐる」

と云ひ出した。

女の子四人でおにごつこを始めた。

美那子さんと和子さんのぶ子さんゐい子さんが連れ立つてはいつてきた。

旅客用飛行機がはじまつた。博久さんは運轉手

になつてつぎ／＼くる人をお客にしてゐる。

一雄さん好禮さんもきた。

おにごつこをしてゐた女の子のかたまりは人数がふえたのでいつのまにかかごめを始めた。

眞士夫さん兼三郎さん庄次郎さんもきた。

お部屋の中は砂場あそび電車飛行機遊びにかごめ遊びと面白そう。

入園開始の今から一ヶ月半ばかりの前を思ひ出して幼児お互がこんなによく遊べる様になつた事をつく／＼うれしくながめた。

時計を見ると丁度九時二十分

本校の園藝の先生からいたゞいておいた花壇の金盞花と三色すみれを摘みに、皆をつれて出かけた。